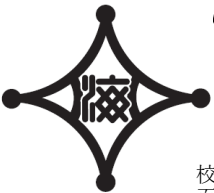


# 海蔵



令和三年七月五日(月)

題字は、海蔵学校時代に本校玄関に掲げられていた額（海蔵小学校百年誌（1975年）に掲載）の文字を基にしています。

## CS運営協議会を開催しました

七月一日、本校は創立一四六周年を迎えました。その記念すべき日に、第二回コミュニケーションスクール運営協議会を開催し、本年度の学校運営についてご協議をいただきました。

前回は新型コロナウイルス蔓延防止のため開催を見送りましたので、今回が本年度最初の協議の場となりました。

早速、子どもたちの授業の様子を見ていただきました。その後、学校づくりビジョンや最近の学校の様子等について、学校ホームページの「日誌」や校長室だより「海蔵」を使って説明し、ご意見を伺いました。

また、新型コロナウイルス対策にも配慮して、今年度着任した職員の紹介動画を制作・披露しました。職員一人一人の個性や思いを感じ取っていたいただき、楽しくご覧いただきました。

### 【感想や主な意見等】

○久しぶりに子どもたちが楽しく生き生きと学ぶ姿を見ることができてよかったです。

○授業参観の時とは違って素の姿が出ていると思っていたが、落ち着いて学習していた。

○ICT機器の活用状況はどんな状況か。効果やデジタルの課題も気になる。

○一人一台タブレットの使い方の指導で子どもによって操作スキルに差は出ないか。

■活用例については学校ホームページでも発信している。効果的に活用していきたい。

■操作方法を互いにききあえるようにしている。アナログとハイブリットで進めていきたい。

○自転車の乗り方が気になる。歩道上の通行など、指導していかねければならない。

○登下校については特に低学年が後ろから来た自転車に気づかず接触しないか心配。

■ドライバーに対して自分の存在や渡ろうという意思を表現できるよう指導したい。

■通学路点検が中止となったが、可能な限り危険個所の情報を集め、要望していきたい。

いただいたご意見は全職員で共有し、今後の教育活動に生かしてまいります。

(※)○は委員のご意見 ■は学校側からの回答

## 自分の心が見ている ～道徳の授業から～

五年生は道徳で「心の管理人」という教材をもとに、自由について考えました。このお話には次の三つの駐輪場が出てきます。

- ①制限がなく置きたいところに適当に止める
- ②管理人がいて、止める場所を指定している
- ③「管理人はあなたです」と表示がしてある

子どもたちは先生から、「一番気持ちよく使えるのはどの駐輪場？」と問われ、それぞれの考えを話し合いました。自由度の点から言えば、①→②→③の順でほぼ一致ですが、「どれがよいか」となると話は別のようでした。

友だち意見を聞いて、「そういうことか。確かに！」という反応もあり、一定程度、考えが深まり、広がった授業でした。「考え・議論する道徳」のよさはそこにあると思います。

◎を、「いい意味での自由」と評価した子どもいました。自由度が低くても「いい」と判断した理由を問い返してみたい気持ちになりました。どうやら子どもたちの意見を総合すると、自由度なら①が高いが、◎こそが「意味のある自由」と感じているようでした。

この意味を突き詰めていくと、「配慮・思いやり・マナーをわきまえているかどうか」になるのではないかと思います。このように論点を絞って考えを共有する授業を通じて子どもたちの感受性の幅が広がり、価値意識が高まることを期待しています。

英語では「Freedom」と「Liberty」という二つの自由があります。◎の自由は後者にあたるのではないかと思います。そこには長い歴史の中で勝ち取ってきた権利という自覚が漂い、責任感や高い市民意識シチジンイシが感じられます。

英語や歴史をまだ本格的に学んでいない子どもたちが何となくこうした感覚を持っているとすれば、社会全体や大人の意識が影響を与えているからにほかなりません。

私たちはそのことを深く自覚し、子どもたちの倫理観や規範意識を育むためにも、「管理」も「表示」も必要なく自由と秩序が守られる社会を維持していきたいと思えます。